

平成26年度修士論文発表日程

発表：持ち時間20分（発表10分 諮問10分）

場所：薬学部第4講堂

3月2日(月)

No.	発表時間			氏名	専攻分野	論文題名	自分野		他分野		ページ
							主査	副査	副査	副査	
1	9:00	～	9:20	劉 佳黛	病態生理学	デオキシリボ核酸ナトリウム塩による皮膚保護作用機序の検討	野田 百美		仲矢 道雄	石井 祐次	1～2
2	9:20	～	9:40	吉村 卓馬	病態生理学	アルツハイマー病モデルマウスにおける神経新生	野田 百美		仲矢 道雄	片淵 俊彦(医)	3～4
3	9:40	～	10:00	三嶋 佳樹	薬効安全性学	免疫系細胞の動態に着目した、心肥大病態時における脾臓の役割解明	黒瀬 等	仲矢 道雄	津田 誠	野田 百美	5～6
4	10:00	～	10:20	西 俊英	薬効安全性学	心筋梗塞におけるプロトン感受性GPCRであるTDAG8の関与	黒瀬 等	仲矢 道雄	小柳 悟	齊藤 秀俊	7～8
5	10:20	～	10:40	小川 開	機能分子合成化学	高次元スピネットワークの構築を目指したヘテロスピ分子磁性体の研究	古賀 登	唐澤 悟	佐々木 茂貴	麻生 真理子	9～10
6	10:40	～	11:00	藤堂 潤一	機能分子合成化学	光応答型ジ(7-キノリン)アミン誘導体の発光挙動とその展開研究	古賀 登	唐澤 悟	王子田 彰夫	大嶋 孝志	11～12
7	11:00	～	11:20	上杉 修平	環境調和創薬化学	触媒による化学選択性の逆転を志向したアミノアルコールの水酸基選択的修飾反応	大嶋 孝志		末宗 洋	王子田 彰夫	13～14
8	11:20	～	11:40	澤 真尚	環境調和創薬化学	ケチミンに対する直接的触媒的不斉アルキニル化反応の開発	大嶋 孝志		佐々木 茂貴	唐澤 悟	15～16
9	11:40	～	12:00	野下 めぐみ	環境調和創薬化学	カーバメートおよびウレアのC-N結合切断反応の開発	大嶋 孝志		古賀 登	麻生 真理子	17～18

10	13:00	～	13:20	大城 郁也	生物有機合成化学	RNA部位特異的の化学修飾を目指した金属応答性ピリミジン型機能性核酸の開発	佐々木 茂貴	谷口 陽祐	大嶋 孝志	麻生 真理子	19～20
11	13:20	～	13:40	菊川 誉也	生物有機合成化学	酵素反応における8-oxodG塩基選択性向上を目指したプリンヌクレオチドの開発	佐々木 茂貴	谷口 陽祐	王子田 彰夫	唐澤 悟	21～22
12	13:40	～	14:00	羽田野 友里恵	生物有機合成化学	部位特異的RNA2'ヒドロキシル修飾反応の開発	佐々木 茂貴	谷口 陽祐	末宗 洋	麻生 真理子	23～24
13	14:00	～	14:20	松枝 望	生物有機合成化学	CpG領域に結合可能なヌクレオチドユニットの合成と機能評価	佐々木 茂貴	谷口 陽祐	古賀 登	唐澤 悟	25～26
14	14:20	～	14:40	川越 亮介	生体分析化学	AMコンタクトによる硫化水素検出プローブの開発と細胞内蛍光イメージングへの応用	王子田 彰夫		古賀 登	佐々木 茂貴	27～28
15	14:40	～	15:00	淵田 大和	生体分析化学	タンパク質特異的ラベル化および不可逆的阻害剤のための機能性分子素子の開発	王子田 彰夫		末宗 洋	大嶋 孝志	29～30

3月3日(火)

No.	発表時間			氏名	専攻分野	論文題名	自分野		他分野		ページ
							主査	副査	副査	副査	
1	13:00	～	13:20	武居 宏明	薬物動態学	ヒトSGLT2の遺伝子発現機構の解明	家入 一郎		増田 智先	小柳 悟	31～32
2	13:20	～	13:40	徳本 知子	薬物動態学	クルクミンが消化管BCRP発現量および輸送機能へ与える影響についての研究	家入 一郎		大戸 茂弘	小柳 悟	33～34
3	13:40	～	14:00	水永 茉梨	薬物動態学	microRNAによるP-gp発現変動における細胞間差異のメカニズム解明と応用	家入 一郎		大戸 茂弘	窪田 敏夫	35～36
4	14:00	～	14:20	篠田 あい	創薬腫瘍科学	N-myc downstream regulated gene 1(NDRG1)の血管内皮細胞におけるVEGF-A/VEGFR2シグナルと血管新生への関与	小野 眞弓		大戸 茂弘	宮本 智文	37～38
5	14:20	～	14:40	西谷 あゆみ	創薬腫瘍科学	進行性ヒト肝細胞癌における新規標的分子と治療法の探索	小野 眞弓		大戸 茂弘	家入 一郎	39～40
6	14:40	～	15:00	片宗 千春	薬剤学	細胞がん化における概日分子時計の転写促進因子・転写抑制因子の機能解析	大戸 茂弘	小柳 悟	家入 一郎	島添 隆雄	41～42
7	15:00	～	15:20	古市 葉子	薬剤学	海馬5-HT1A受容体を介した記憶学習の制御および認知機能障害発症機構の解明	大戸 茂弘	小柳 悟	家入 一郎	島添 隆雄	43～44
8	15:20	～	15:40	渡邊 美弥子	薬剤学	細胞周期制御因子を標的とした肝炎抑制化合物の探索	大戸 茂弘	小柳 悟	家入 一郎	島添 隆雄	45～46
9	15:40	～	16:00	岩崎 優香	医薬細胞生化学	分裂期停止作用を示す新規抗がん化合物N'-[(9-ethyl-9H-carbazol-3-yl)methylene]-2-iodobenzohydrazide(NP-10)の作用機序の解析	藤田 雅俊		大嶋 孝志	大戸 茂弘	47～48
10	16:00	～	16:20	榎谷 光熙	医薬細胞生化学	LacO-LacIシステムを用いた複製開始制御因子Cdt1によるクロマチン制御機構の解析	藤田 雅俊		片山 勉	田中 嘉孝	49～50
11	16:20	～	16:40	都地 崇弘	医薬細胞生化学	GRWD1及びPur αによるp53転写活性制御機構の解析	藤田 雅俊		片山 勉	小柳 悟	51～52

3月4日(水)

No.	発表時間			氏名	専攻分野	論文題名	自分野		他分野		ページ
							主査	副査	副査	副査	
1	9:00	～	9:20	古賀 啓祐	薬理学	P2X3受容体を介する脊髄後角抑制性ニューロンシナプス伝達の調節	井上 和秀		津田 誠	小柳 悟	53～54
2	9:20	～	9:40	富山 大輔	薬理学	抗うつ薬デュロキセチンによる神経障害性疼痛抑制効果:ミクログリアP2X4受容体の関与	井上 和秀		津田 誠	小柳 悟	55～56
3	9:40	～	10:00	松田 烈士	薬理学	in vivoイメージングを用いた痛覚伝達時における脊髄後角アストロサイトシグナリングの解明	井上 和秀		津田 誠	小柳 悟	57～58
4	10:00	～	10:20	井手 皐月	機能分子解析学	ニトロアミン投与初期に生成する脂質ラジカルの構造解析および肝癌発症メカニズムの解明	山田 健一		王子田 彰夫	石井 祐次	59～60
5	10:20	～	10:40	白水 智則	機能分子解析学	動脈硬化巣におけるプラーク検出を目的としたガドリニウム錯体結合型ニトロキンド造影剤の開発	山田 健一		浜瀬 健司	唐澤 悟	61～62

6	13:00	～	13:20	木村 天	分子衛生薬学	UDP-グルクロン酸転移酵素 2B7 の小胞体局在に關与する領域の同定	山田 英之	石井 祐次	田中 嘉孝	阿部 義人	63～64
7	13:20	～	13:40	小宮 由季子	分子衛生薬学	ダイオキシンによる肝毒性の新規機構:ロイコトリエン B4 蓄積とその役割	山田 英之	石井 祐次	山田 健一	仲矢 道雄	65～66
8	13:40	～	14:00	服部 友紀子	分子衛生薬学	ダイオキシン母体曝露による出生児発育障害:胎児期の成長ホルモン低下の毒性学的意義とその機構	山田 英之	石井 祐次	藤田 雅俊	西村 行生	67～68
9	14:00	～	14:20	土田 愛海	分子生物薬学	大腸菌の染色体に存在する新たな機能性非コード領域の探索—細胞増殖に必須な領域の同定とその解析—	片山 勉		田中 嘉孝	藤田 雅俊	69～70
10	14:20	～	14:40	崎山 友香里	分子生物薬学	染色体複製を開始させるDnaA蛋白質複合体の機能構造動態:二重鎖DNA開裂における個々のDnaA分子の特異的役割	片山 勉		植田 正	藤田 雅俊	71～72
11	14:40	～	15:00	米永 弥生	創薬育薬産学官連携	二次元HPLCを用いるヒト尿中キラルアミノ酸一斉分析法の開発	浜瀬 健司		植田 正	小柳 悟	73～74
12	15:00	～	15:20	鬼ヶ原 弘久	創薬育薬産学官連携	疎水性アミノ酸を有する新規高性能パークル型固定相の開発とキラルアミノ酸の分離特性解析	浜瀬 健司		王子田 彰夫	山田 健一	75～76
13	15:20	～	15:40	下川 健太	蛋白質創薬学	ヒト型抗体Fab定常領域へのジスルフィド結合導入が及ぼす安定性への影響—変異体解析およびX線結晶構造解析—	植田 正	阿部 義人	石井 祐次	浜瀬 健司	77～78
14	15:40	～	16:00	永井 咲妃	蛋白質創薬学	ヒト由来P2X4受容体細胞外ドメイン認識抗体の作製とスクリーニング系の確立	植田 正	阿部 義人	津田 誠	田中 宏幸	79～80
15	16:00	～	16:20	藤崎 尚規	蛋白質創薬学	添加剤を用いたV λ 6変異体の安定性及びアミロイド線維化への影響	植田 正	阿部 義人	森元 聡	西村 行生	81～82
16	16:20	～	16:40	加藤 梨那	生薬学	植物のcyclophilin Dおよびvoltage-dependent anion channelに関する研究	森元 聡	田中 宏幸	植田 正	宮本 智文	83～84
17	16:40	～	17:00	中島 由貴	生薬学	植物アポトーシスにおけるシロイヌナズナ Cytochrome cに関する研究	森元 聡	田中 宏幸	阿部 義人	宮本 智文	85～86